

中海の再生と活用に、官民が力合わせて

10月12日(土)、県庁会議棟で、第7期中海自然再生協議会(第2回会議)が開催され、公募委員の一人として、橋本朗市議が参加しました。



中海自然再生協議会

「自然再生推進法」に基づき平成19年に設立されました。この協議会は、①専門家・島根大学を中心に様々な研究家など、②行政機関・国土交通省、農水省、環境省、鳥取・島根両県、米子、安来、境港松江市など、③公募委員・関係団体や、関心のある個人などで構成され、その委員は2年ごとに改選されます。

今年6月からは新たに改選された委員によって第7期の活動がスタートしました。今回の会議では、全体構想の見直しという点で、自然再生の考え方の中に、気候変動

に伴う生態系を含めた防災・減殺などの取り組みや「SDGs」(持続可能な開発目標)の考えを取り入れるなどの論点が整理され、話し合われました。

また第7期の活動としては、①海藻、②湖岸、③くぼ地、④全体構想の4部会を構成し、委員はいずれかの部会に所属し、それぞれ①海藻の回収活用、②中海の水質改善のためのサイクリングを中心に、中海の地理的特徴を活かした湖岸の活用等などの活動を進めることとなりました。

市政報告を聞いてみんなで語ろう！ 田中はじめ市議が議会報告



田中はじめ市議が議会報告

11月2日、プラバホール会議室で「市政報告を聞いてみんなで語ろう！」をテーマに集いが開催され、田中はじめ市議が議会報告、その後、参加者が普段感じていることを

田中はじめ市議が議会報告

交流しました。この会は、西津田・雑賀地域で、「松江市の今一番の課題は何?」「私の生活と市政は、どうつながっているの?」という思いを一緒に語り合いたいと、昨年に続き、2回目の開催となりました。

最初に田中市議が、◇最近の台風・大雨災害を受け、防災ガイドブック・ハザードマップについて、◇原発2号機の審査状況について、◇保育料の充実を、◇国保基金18億円を国保料の引き下げ、特に、均等割り国保料減免の実現に

ついて等の市議会での議論の状況を報告しました。

日本共産党市議団は、10月29・30日に予算要望に関する重点申し入れを行い、市民の切実な要求の早期の実現を求めるとともに、次年度予算要求に反映させるための理解を深めることができました。

教育委員会

◆入学準備金(就学援助)の早期支給について

この問題では、市民の強い要望により、5月支給が前倒しにされ、年度内の3月支給が実現しています。しかし、ランドセルの準備等に間に合う時期にさらにはやめてほしいとの要望があり、12月支給をしている先行自治体の実態を調査して欲しいと求めたものです。

予算要望に関する重点申し入れの内容

捕獲助成金は、1頭につき1万7千円、鹿3万円支出されていてヌートリアは支払われていないとのことでした。

予算拡充を求めるとともに、本市においても予算確保に努める」との回答が寄せられていました。

申し入れでは、イノシシ被害は市内全域、鹿の被害は半島部だが玉湯での報告もある、その他、アナグマが鹿島、島根、八雲、ヌートリアが宍道湖・中海周辺等の被害の実態があることが明らかになりました。

◆通学路危険箇所対策について

「国の補助制度拡充の情報を受けながら検討する」との回答に基づき早期の対応を申し入れました。

◆選挙管理委員会

◆投票の機会を保障するための施策について

出前期日前投票の拡充には、本人確認のための技術的な課題の解決が必要であることが明らかになりました。

◆子育て部子育て支援課

◆中学卒業までの医療費無料化について

この問題では、「国の制度として実施されるよう国に働きかける」との立場でした。また、県の交付金制度の実施時期等についてはまだ示されていないとのことでした。

この問題では、現状を確認しました。

今回の重点申し入れの内容をもとに、今後、来年度予算への要望をまとめ、11月末に市に提出する予定です。要望をお寄せください。

◆有害鳥獣対策について

市内各地の鳥獣被害に対する対策の強化を求める声が寄せられ、助成金予算の増額を求めたのに対し、「国・県に

◆産業経済部農林基盤整備課

「病床の統廃合はほしい」「プレミアム商品券をおかしい」など、にも2万円が出せない」など、医療・福祉、消費税と、身近な話題で議論は大いに盛り上がりしました。

◆防災安全部防災安全課

◆避難所となる学校体育館へのエアコン設置について

この問題では、「県内の動向や他都市の状況を見ながら慎重に対応していきたい」との回答について、現状を確認しました。